

1. 履修単位 4 単位
2. 実施日時 令和3年11月26日(金) 第1時限
3. 学 級 1年3組(38名)
4. 使用教科書 LANDMARK English Communication I Revised Edition (啓林館)
5. 単 元 名 Lesson 9 Space Elevator
6. 単元設定の理由

○題材観

本単元は、今世紀半ばに実現が期待されている宇宙エレベーターを取り上げ、その仕組みや、その実現を支える科学技術について説明し、ロケットより省エネで環境にも優しいということにも言及している。ここで学習する背景知識や豊富な言語材料を用い、宇宙エレベーターについて聞いたり読んだりしたことをもとに、英語で自分の考えを表現するにつなげたい。また、仮定法過去や倍数表現の学習を通して、現在の事実とは異なる仮定や願望を表したり、より具体的に物事を比較したりしながら、自分の考えを効果的に伝える力の向上に適した題材である。

○指導観

本単元は、本文の内容理解をもとに、自分の考えを表現するのに適した内容となっている。そこで、「CAN-DO リスト」の「話すこと①」に関する指導と位置付け、自分の考えを伝えるために必要な構成や表現方法に焦点を当てた指導を行う。自分の考えを明瞭に伝えるために工夫すべき点や効果的な表現を生徒から引き出し、必要があれば整理するなどして、知識や言語材料を十分に持たせてから発表に取り組みせ、グループの全員で意見を交換し内容を深め合う言語活動を目指したい。

7. 単元の主な目標

- (1) 宇宙旅行について興味を持ち、自分の考えを積極的に伝える。
- (2) 宇宙エレベーターについての内容を口頭で説明するとともに、宇宙旅行についての自分の考えを、話したり書いたりして、適切に伝える。

「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標との関連→「話すこと①」

- (3) 宇宙エレベーターについての説明を聞いたり読んだりして、情報を的確に理解する。
- (4) 仮定法過去や倍数表現を用いた文の構造と意味を理解する。

8. 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
宇宙旅行について興味を持ち、自分の考えを積極的に伝えようとしている。	①宇宙エレベーターについての内容を口頭で説明することができる。 ②宇宙旅行についての自分の考えを、話したり書いたりして、適切に伝えることができる。	宇宙エレベーターについての説明を聞いたり読んだりして、情報を的確に理解することができる。	仮定法過去や倍数表現を用いた文の構造と意味を理解している。

9. 指導と評価の計画

時間	ねらい	本課の 評価規準	評価方法
①	本課で学習する文法事項について構造や意味を理解する。	エ	後日ペーパーテスト 課題提出
2	Part 1, 2 を聞いたり読んだりして、概要や要点を把握し、内容に関する質問に答える。	ウ	後日ペーパーテスト
3	Part 3, 4 を聞いたり読んだりして、概要や要点を把握し、内容に関する質問に答える。	ウ	後日ペーパーテスト
4	本文全体を振り返り、内容を口頭で説明する。	イの① ウ	活動の観察
5	宇宙旅行について、自分の意見をスライドにまとめる。	イの②	活動の観察
6	宇宙旅行について、グループごとにプレゼンテーションを行い、質疑応答をする。	ア イの②	活動の観察 プレゼンテーション
7	〈ペーパーテスト〉 ◇倍数表現と仮定法過去を用いた英文についての理解をみる問題 ◇本文の内容理解を確認する問題	エ	ペーパーテスト
		ウ	ペーパーテスト

○は本時

10. 「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標（第1学年）

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	評価	学習到達目標	評価	学習到達目標	評価	学習到達目標	評価
①話の感想を簡単に述べることができる。 ②短い対話ができ、補助を得ながら相手に理解してもらうことができる。	コミュ英 I・英表I ・発表 ・インタビ ューテスト 等	①情報の大意を踏まえ、書くことができる。	コミュ英 I・英表I ・英語作文 ・記述練習 ・課題提出 ・定期考査	①テキストの聞きなれた単語や表現を理解することができる。 ②授業で教師の話すことが理解できる。	コミュ英 I・英表I ・リスニン グテスト ・定期考査	①辞書なしでテキストの重要なポイントを理解することができる。 (1分間で80字以上)	英表I ・リーディ ングテスト ・定期考査

1 1. 本時（第1時）の指導過程

(1) 目標

仮定法過去・仮定法過去完了・比較級を使用した倍数表現について日本語で説明し、実際にそれら表現を使って短い文を書く課題を与える。テキストの内容を聞いてあらすじを理解するように促す。

(2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における 具体的な評価規準	評価方法
10分	1 レッスン内容を知る。	・動画や簡単な Small Talk により、宇宙に興味を持たせるように努める。		
2分	2 本時の目標を理解する。	・テキストの文法事項を紹介する。		
20分	3 文法事項を理解し、ワークシートに取り組む。	・テキストの文法事項に補助テキストの文例を併せてパワーポイントで説明する。 ・Read after me では発音に気をつけるように促す。 ・生徒には Metamoji でワークシートを配布し、説明を聞きながら必要であればメモをとらせる。 ・説明文法項目に添ってワークシートに取り組むように時間を与える。	エ	活動の観察 ワークシート
5分	4 復習問題に取り組む。	・スタディサプリで文法を復習させる ・生徒のつまずきを集計によって捉える。		
8分	5 つまずきポイントを復習する。	・生徒の間違いの多い箇所を例を挙げながら確認する。		
5分	6 本時のまとめを行う。	・テキストを聞いて、学んだ箇所を注意して聞き取り、ワークシートの穴埋めに挑戦しようとする姿勢を創る。		

「十分満足できる」と判断される状況	積極的にワークシートに取り組んでいる。また、質問されたことに的確に応答している。テキストを聞いて、学んだ箇所のブランクに単語を書き込むことができる。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	取り組みやすいようにワークシートを工夫する。配信問題の結果から苦手な箇所をくみ取り説明を重ねる。生徒が自分の苦手な箇所を理解し、克服使用とする姿勢を育むよう声かけをする。